

日赤なごや

VOL.
92
SPRING
2026

新院長ご挨拶

Professional Style

感染症看護専門看護師

林 瑞穂 係長

栄養のいろは

飲酒の目安量について

登録医療機関紹介

かかりつけ医をもちましょう



LINE 公式アカウント

友だち募集中
@849hfwmb

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください

Instagram 公式アカウント

PR_NISSEKI.NAGOYA

ふれあい
通信

- 箏・尺八コンサートを開催しました
- AYA世代対応チームのご紹介

イベント
掲示板

- がん相談支援センターをご利用ください
- ピアサポーターに相談してみませんか
- がんサロン「コスモス」開催のご案内
- 赤十字健康教室を開催します

お知らせ

- 一部の祝日における営業（通常診療の実施）について

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院
Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital

- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 救命救急センター
- 総合周産期母子医療センター
- 地域中核災害拠点病院
- 造血幹細胞移植推進拠点病院



新院長ご挨拶

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

院長 森 正一

日本赤十字社は2027年5月1日に創立150周年という大きな節目を迎えます。その歴史的節目を目前に控えた時期に日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院の院長を拝命しましたことに対して、身の引き締まる思いと責任の重さを強く感じております。

現在の社会は人口構造・地方の変化、急速な技術革新、国際秩序の混乱、価値観の多様化、地球温暖化に伴う自然災害などにより大きく変化しています。医療を取り巻く環境も一層複雑化していますが、日本赤十字社が掲げる「人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性」の基本原則のもと、人の命と健

康、そして尊厳を守るという使命は変わりません。この理念を礎に、時代の変化に対応しながら未来を見据えた「新しい時代の赤十字」の実現を目指してまいります。

医療政策の面では、2040年問題を見据えた第8次地域医療計画が進められています。団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には高齢者人口が総人口の35%を超えると予測される一方、少子化の進行により生産年齢人口が大幅に減少すると見込まれています。医療需要の増大と医療人材不足という課題が深刻化する中、当院の診療圏の名古屋西部・尾張中部地域でも持続可能な地域医療体制の構築が重要となります。この地域では「尾陽包括ケアの会」を中心に医療機関の連携による地域医療体制づくりが進められており、当院は高度急性期医療を担う基幹病院として重要な役割を果たしています。今後は医療機関との連携をさらに強化し、「下り搬送」の推進などを通じて医療機能の分化と協力を進めるとともに、高度急性期医療の質の向上に努めてまいります。

また、日本赤十字社の9つの事業のうち、当院は国内災害救護と医療事業を中心的使命としています。能登半島地震では災害拠点病院として直後から救護班を派遣し、長期にわたり被災地支援を行いました。平時からの訓練

と職員の使命感の積み重ねがその活動を支えています。さらに事業継続計画（BCP）の整備により、当地域が被災した場合でも医療の提供を継続できる体制づくりを進めています。

医療面では、高度急性期医療を担う基幹病院として先端医療の導入と医療の質の向上に取り組んでいます。がん医療ではAYA世代への対応を進めるとともに、放射線リガンド療法やCAR-T細胞療法、移植では同種造血細胞移植後の慢性移植片対宿主病（GVHD）への体外フォトフェレーシス（ECP）療法などの先端治療を導入しております。手術分野では複数診療科で年間約400例のロボット支援手術を実施し、血管内治療など低侵襲医療も積極的に展開しています。また、医療の質と効率の向上を目指し、AI技術を活用した医療DXの推進にも取り組み、診療支援や業務の効率化、データ活用による医療の高度化を進めています。さらに複数診療科15名の救急・当直体制により、入院患者さんの診療と地域の救急医療を24時間支えています。

今後も地域の皆様に信頼され、安心して医療を受けていただける「なかむら日赤」であり続けるため、職員一同が力を合わせ、より質の高い医療の提供に努めてまいります。引き続き皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



表紙のひと

感染管理室
感染症看護
専門看護師
はやしみずほ
林 瑞穂 係長



院内外の人を感染症から守り、
1日でも早く通常の生活に戻れるよう努めます。

業務が安全に行われているか、
マニュアルに沿って確実な対策を。

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師などと連携し、院内の感染防止対策を行うのが、私たち感染管理室の仕事です。患者さんを守るために各部署と協力することはもちろん、職員を感染のリスクから守ることも重要な役割です。

感染症の集団発生時や特定の感染症発生時、発生部署から連絡が入ったときに院内感染管理者と感染管理室のメンバーと協議し、対策を検討します。感染管理室では院内感染防止対策マニュアルを作成し、マニュアル通りに対策が実施されているか確認・分析しています。マニュアルは新たな感染症が発生するたびに改訂され、感染症やその症状によって必要なマニュアルが異なるため、適切に行われているか目視で細かくチェックします。感染症の動向を知るためのデータ収集・分析「サーベイランス」を行い早期に介入し、部署の感染対策に活用しています。さらに感染症発生時の保健所への届け出や発生現場の立ち会い、感染者の行動確認、家族との連携など業務は多岐にわたります。

患者さんやその家族、職員まで、
安全に配慮し医療関連感染を防ぐ。

感染症対策においてはワクチンを打てない、持病によって感染症に感染しやすい、妊娠しているなど、患者さんによって個別の対応が必要です。また職員の家族が感染症にかかっているケースもあり、院内すべての患者さんと家族、職員も対象としていることが当院の対策の特徴です。患者さんがももとの病気とは別の新たな感染症に院内でかからないようにするための対策も実施しています。

コロナやインフルエンザ、水疱瘡や結核などの対策では、患者さんに隔離制限を行う場合があります。自宅とは異なる環境で、ガウンやマスクを着用して顔がほぼ見えない看護師とのやり取りが続くため、患者さんの精神的なケアも大切です。また長期のベッド生活によって筋力は低下し、隔離解除時には歩行が難しくなることがあります。可能な限り早期に隔離を解除できるように検討していますが、不用意な解除は感染拡大のリスクがあります。他の患者さんや職員の身を守りつつ、早期に安全に隔離制限を解除できないか医師と協議しながら対応しています。症状が悪化せず、隔離の解除を迎えられたときは患者さんもうれしそう、私たちも心

から喜びを感じます。

手指消毒は感染予防の第一歩
日頃の対策徹底を呼び掛けています。

感染症の多くが見た目ではわからないので、感染対策の重要性を職員が理解し確実に実施することが重要です。特に手指消毒は標準予防策の一つですから、各所にポップを掲示するなど、あの手この手で手指消毒回数を上げるための対策を実施しています。

感染管理室は院内の感染対策を指導する立場にありますが、必要な感染対策は診療科・部署によって、また患者さんの状態によっても異なります。一方的な指示ではなく、診療科・部署と協議して状況を個別に考慮し、的確な対策の実施につなげることを大切にしています。

コロナ禍で手指消毒や手洗い、マスク装着が日常化しました。しかしその習慣がうすれてきているように感じます。日頃から「すべきことをする」を大切に、せっかく高まった感染予防の意識を改めて思い出してください。新たな感染症はいつ発生するか分かりません。日頃から家庭でもせっけん・流水による手洗いやうがいの徹底に努めて、感染症からご自身を守ってください。

栄養のいろは

・第14回・飲酒の目安量について

新年度が始まり、新しい環境・新しい仲間を迎えられた方もいるでしょう。忘年会・新年会・送別会そして歓迎会とイベントが続き、肝臓が疲弊していませんか。今回は、飲酒の目安量について紹介します。

2024年に厚生労働省により「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」が作成されました。このガイドラインは、アルコール健康障害の発生を防止するため、国民一人ひとりがアルコールに関連する問題への関心と理解を深め、自ら必要な注意を払って不適切な飲酒を減らすために活用されること






を目的としています。

飲酒の目安量として、純アルコール量での把握が推奨されています。健康日本21（第三次）では、「生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上）を飲酒している者の減少」を目標としています。つまり、男性では1日40g未満、女性では20g未満に抑えることが目安になります。

お酒は「量」と「頻度」が大切です。この機会に、ご自身の飲酒量を一度確認してみたいはいかがでしょうか。

お酒に含まれる純アルコール量の算出式

$$\text{摂取量 (ml)} \times \text{アルコール濃度 (度数/100)} \times 0.8 (\text{アルコールの比重}) = \text{純アルコール量 (g)}$$

ビール (5%)  500mL	チューハイ (7%)  350mL	ワイン (12%)  200mL	日本酒 (15%)  180mL	ウイスキー (40%)  60mL
--	---	--	--	---

純アルコール量20gの目安

ふれあい通信



2/9

箏・尺八コンサートを開催しました

TOPICS 1

2月9日、「箏・尺八コンサート」を開催しました。このコンサートは、名古屋市文化振興事業団 名古屋能楽堂が主催し、患者さんご家族、さらに地域住民の方々に向けた“出張コンサート”として初めて当院を会場に企画されたもので、箏奏者の新美史子さんをはじめ4名の奏者の方にお越しいただきました。

日本のわらべ唄をはじめとした伝統的な曲から、「ジブリメドレー」や「ドレミの歌」「ピリブ」など、誰もが聞きなじみのある曲まで、約10曲を披露していただきました。

来場者からは、「普段なかなか聴くことのない箏・尺八

の生演奏を聴けて、貴重な経験になった」「約1時間の演奏で様々なタイプの曲目を聴けてとても楽しかった」「心が洗われて、穏やかな気持ちになった」といった感想が寄せられました。

箏と尺八が織りなす和の響きに、心温まるひとときを過ごすことができました。名古屋能楽堂と奏者の皆さん、ありがとうございました。



AYA世代対応チームのご紹介

TOPICS 2

AYA(アヤ)世代とは、15～39歳の思春期・若年成人を指します。この時期に病気や治療と向き合うことは、学校生活、進学、就職、結婚、出産、育児など、人生の節目と重なるからこそ、より大きな不安や悩みを抱えやすくなります。

こうした特有の悩みに寄り添うため、当院では2023年4月に「AYA世代対応チーム」を立ち上げました。医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、公認心理師、管理栄

養士、医療ソーシャルワーカー、事務職など、多職種が連携し、個別支援に取り組んでいます。

病院祭やAYA WEEK等の院内イベントでは、「AYA」に関する啓発活動を行っています。また、患者さんの「同じ年くらいの患者さん、本当にいる?」という声から、AYA世代の患者さんからのメッセージの展示や、AYA版がんサロン「コスモス」を開催しています。患者さん同士お互いの存在を感じられ、孤独をそっと和らげる場になっています。

病気になってもその人らしさを大切にしながら歩み続けられるよう、私たちにできることを考えていきましょう。





お知らせ

Information

一部の祝日における営業(通常診療の実施)について

2026年度、当院は次の祝日を平日扱いとしていずれも通常どおり営業します。

2026年 8月11日(火) **山の日** 11月3日(火) **文化の日**

2027年 2月11日(木) **建国記念の日**

なお、祝日営業日に関しては次の点にご留意願います。

2026年3月現在

- 当院から他医療機関への紹介が当日できない場合があります。
- 院外薬局が当日営業していない場合や処方を受ける場合に休日加算がかかる可能性がありますのでご注意ください。
- 受診の際に紹介状をお持ちでない場合は、平日と同様に、診療費とは別に選定療養費(税込7,700円)をご負担いただきます。

掲示板

がん相談支援センターをご利用ください

がんに関する様々な悩みごとについて、専門の相談員がお話を伺います。お気軽にご利用ください。

相談時間 平日8:50~17:20
(12月29日~1月3日、5月1日を除く)

場所 相談支援センター1階

がんサロン「コスモス」開催のご案内

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を開催します。ぜひご参加ください。

開催日 毎月第4火曜日
・4月28日(火) ・5月26日(火)
・6月23日(火)

時間 14:00~
15:30

場所 管理棟3階
会議室3



ピアサポーターに相談してみませんか

「名古屋市 がん相談・情報サロン ピアネット」で相談対応に実績のあるピアサポーター(がん体験者や家族)による出張相談です。ぜひご参加ください。

開催日 毎月第2木曜日
・4月9日(木)
・5月14日(木)
・6月11日(木)

時間 10:00~12:00

場所 西棟1階 ホスピタルモール横



赤十字健康教室を開催します

《テーマ》がんの薬物療法

開催日 5月22日(金)

時間 14:00~16:00

場所 東棟2階 内ヶ島講堂

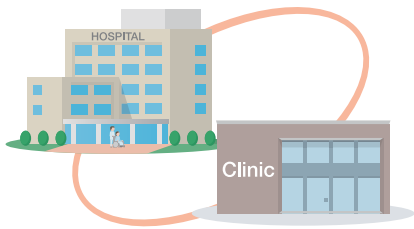


読者アンケートにご協力をお願いします

より良い誌面づくりのため、皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

<https://forms.office.com/r/3paikcHVd4>





登録医療機関紹介

かかりつけ医をもちましょう

細川外科 クリニック



住所

〒453-0812 名古屋市中村区西米野町1丁目75-2

電話番号 052-481-9921

院長 細川 真一郎

診療科目 外科・内科・形成外科・皮膚科

専門分野 外科・内科・形成外科・皮膚科

休診日 木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

受付時間 9:00~12:00、17:00~19:00

当院は、1995年に開業以来、地域の皆様のお力で今まで診療を続けています。また、名古屋駅からのアクセスも良く、地域の皆様の健康を支えてまいりました。これからも街の「かかりつけ医」として、地域の皆様の生活を支えていくことが使命だと思っています。

今後も、当院は外科全般だけでなく、内科、形成外科、皮膚科にも対応し、生活習慣病の予防医学にも重点を置いており、幅広い医療サービスを提供していきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2026年3月1日時点の情報です。

ヴェルヴァーレ 本陣クリニック



住所

〒453-0041 名古屋市中村区本陣通2-19

電話番号 052-414-5151

院長 荻野 仁志

診療科目 内科・糖尿病内科・内視鏡内科・整形外科

専門分野 糖尿病内科・内視鏡内科

休診日 日曜日午後、祝日

受付時間 9:00~13:00、14:00~17:00

人生100年時代になった今、健康寿命の延長が求められています。介護を受けながらどうにか生活している寿命ではありません。「元気で健康な」寿命です。そのためにはメディカルフィットネスのような予防医療がとても重要です。従来からの早期発見早期治療はもちろん、さらに一歩進んだ医療を目指してこのクリニックを開設しました。今まで培ってきた知識・技術・経験を活かして、皆様の「元気で健康」＝「ヴェルヴァーレ」に寄り添うことができれば幸いです。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2026年3月1日時点の情報です。

佐藤あつし クリニック



住所

〒454-0872 名古屋市中川区万町403

電話番号 052-352-2311

院長 佐藤 温

診療科目 内科、小児科

専門分野 内科、小児科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科

休診日 水曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

受付時間 9:00~12:15、15:30~18:45[平日]
9:00~12:15[土曜日]

当院は、みなさまが健やかで幸せな人生を安心して送ることができるよう、患者様の痛みや苦しさに寄り添い、思いやりにあふれた医療を提供し、多くの人々から信頼され愛されるクリニックになるよう努力しています。そのために、①笑顔 ②安心 ③チームワーク ④向上心 ⑤清潔 ⑥地域貢献 を心がけています。

ホームページ



メディカル
掲載ページ



上記は2026年3月1日時点の情報です。

やまだ 耳鼻咽喉科



住所

〒454-0972 名古屋市中川区新家1丁目1611 アズタウン医療ビル1F

電話番号 052-431-1133

院長 山田 剛寛

診療科目 耳鼻咽喉科

専門分野 耳鼻咽喉科

休診日 木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

受付時間 9:00~12:00、16:00~19:00

当院は中川区千音寺のアズパーク近くにある耳鼻咽喉科です。地域のみなさまの「聞こえ・鼻・のど」の健康を総合的にサポートする耳鼻咽喉科クリニックです。専門医による確かな診断と、わかりやすい説明を大切に、患者さま一人ひとりに寄り添った医療を提供しております。花粉症、アレルギー性鼻炎、めまい、中耳炎、補聴器相談など、日常のお悩みから長引く症状まで幅広く対応しています。小さなお子さまから高齢の方まで、安心して通える「地域のかかりつけ耳鼻科」を目指しています。

メディカル
掲載ページ



上記は2026年3月1日時点の情報です。

市民の皆さんが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようにするために、医療や介護などを一体的に考える「地域包括ケアシステム」というものがあります。そして当院は「地域医療支援病院」かつ「高次機能病院」としての責務を果たすため市民の皆さんの急性期医療を担っています。地域包括ケアシステムを完成させるには、市民の皆さんの日常の医療に関するフォローの役割を担う「かかりつけ医」との連携が非常に重要です。当院では多くの医療機関と「登録医師・登録歯科医師」としての連携を結んでいます。ここでは「かかりつけ医」の診療所をご紹介します。

※当院を受診する際は、かかりつけ医による紹介状をお持ちください。紹介状をお持ちでない場合、診療費とは別に選定療養費として7,700円(税込)をご負担いただきます。

かかりつけ医

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

日ごろの健康管理
専門的な治療が
必要なら当院へ紹介

紹介

高度医療・専門医療
病状が安定したら再び
「かかりつけ医」へ

逆紹介

よつ葉 ファミリー クリニック



住 所

〒490-1105 愛知県あま市新居屋郷111-1

電話番号 052-526-6767 院長 山田 恭裕

診療科目 一般内科・泌尿器科・小児科

専門分野 一般内科・泌尿器科・小児科

休 診 日 木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

受付時間 9:00~12:30、15:00~18:00

当院は、赤ちゃんからお年寄りまで、ご家族みなさんで通院できるクリニックです。特徴としましては、①ひとつのクリニックで全身を管理 ②高齢者に寄り添った医療 ③こどもとママに寄り添った医療 ④専門外来の設置 ⑤女性医師在籍 ⑥完全別動線の発熱外来 が挙げられます。お困りなことがありましたら、御相談ください。よろしくお願いたします。

ホームページ



メディグル
掲載ページ



上記は2026年3月1日時点の情報です。

富田レディース クリニック



住 所

〒490-1113 あま市中萱津南の川66

電話番号 052-441-5811 院長 富田 悦充

診療科目 産婦人科

専門分野 産婦人科

休 診 日 火曜日午後、木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

受付時間 9:00~12:00、18:00~20:00

すべての女性が健康で、自分らしく過ごせるようお手伝いできればと日々診療しております。妊婦健診、予防接種、がん検診等異常の発見や予防に努めており、当院で解決できない場合は他科・他院へ紹介いたします。

メディグル
掲載ページ



上記は2026年3月1日時点の情報です。

中村本陣呼吸器 アレルギー内科 クリニック



住 所

〒453-0021 名古屋市中村区

松原町2丁目22-1 そうごうメディカルモール+care本陣

電話番号 052-433-3981 院長 奥村 隼也

診療科目 内科・呼吸器内科・アレルギー科

専門分野 内科・呼吸器内科・アレルギー科

休 診 日 木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

受付時間 9:00~13:00、16:00~18:30

これまでの臨床経験を活かし、内科・呼吸器内科の診療を通して、皆さまが安心して日々を過ごせるようお手伝いをしています。呼吸器の病気には、長く付き合っていくものも少なくありません。そのため当院では、症状を安定させる治療や悪化を防ぐ予防を大切に、一人ひとりに合わせた丁寧な診療を心がけています。せきが長引く、いきぎれが気になる、ぜんそくの症状がある、アレルギーでお困りの方は、どうぞお気軽にご相談ください。「これくらいで受診していいのかな」と迷うような症状でも構いません。早めの対応が安心につながります。急性期医療機関との役割分担を明確にし、必要時には速やかに高次医療機関へご紹介するとともに、状態安定後の逆紹介も積極的にお受けいたします。地域の皆さまの健康を支え、安心して相談できるクリニックでありたいと考えております。

ホームページ



メディグル
掲載ページ



上記は2026年3月1日時点の情報です。

タナベ歯科 クリニック



住 所

〒452-0043 愛知県清須市西枇杷島町東六軒23

電話番号 0120-80-3559 院長 田邊 敏也

診療科目 歯科・小児歯科 専門分野 歯科・小児歯科

休 診 日 木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

受付時間 9:30~12:30、15:00~20:00[平日]

9:30~13:30[土曜日]

当院は、1936年に「田邊歯科医院」として開業以来、西枇杷島町で80年以上にわたって歯科治療を行ってまいりました。当院が手がけているのは、できる限り痛みが少ない丁寧な治療です。学会にも積極的に参加し、新しい治療、技術の習得にも努めています。これからも患者様が安心して通えるアットホームな雰囲気のクリニックづくりを行い、地域の皆様の歯の健康をお守りしてまいります。スタッフ一同笑顔で皆様をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ホームページ



メディグル
掲載ページ



上記は2026年3月1日時点の情報です。

外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2026年4月1日現在

診療科目	月	火	水	木	金	
血液	後藤辰徳	西田徹也	西田徹也	石際康平	加賀谷裕介	
	加賀谷裕介	久保篤史	後藤辰徳	中谷記衣	山田智大	
	PM中谷記衣	PM谷社太	田原玄寛	PM久保篤史	PM西田徹也	
	PM田原玄寛	PM大辻寛子	PM山田智大	PM谷社太	PM内藤知希	
内分泌	清田篤志	林祐里	尾崎信暁	加藤史也 / PM小出典司	清田篤志	
	大橋海斗	佐野玲子	—	杉谷直紀	臼井皓音	
腎臓	安田香	上田怜那	田村駿佑	吉澤祐紀	横江優貴	
脳神経	新患	安藤孝志	大河内建	山本満里奈	第1-2-5日 小嶋陽介 / 第2-4日 義駒陽一	第1-2日 長谷川智哉 / 第2-4日 村林直樹
	再診	渡邊はづき	小椋陽介	後藤洋二	渡邊はづき	後藤洋二
循環器	新患	秋田茂貴	加藤稔真	黒川英輝	近藤俊	古田翔太郎
	再診	嶋野祐之	嶋野祐之	柴田義久	安田健一郎	柴田義久
呼吸器	新患	横山俊彦	竹山佳宏	小玉勇太	稲垣雅康 / 白影彰	田中麻里 / 吉田健太
	再診	—	吉田健太	PM中村花凛	横山俊彦	小玉勇太
消化器	新患	土居崎正雄	山口丈夫 / PM藤吉俊尚	川部直人	AM山口丈夫 / PM白影彰	土居崎正雄
	再診	—	市川毅留	鷺見肇	AM藤吉俊尚 / PM新田浩己	AM大橋佳代子 / PM桑原慎也
総合診療	宮川慶	—	宮川慶	PM榎葉誠	—	
緩和ケア	—	—	—	—	河合奈津子	
午前	福見大地	濱麻人	大城誠	福見大地	山本啓之	
	高見直	西門優一	前村遼	大竹輝	三井さやか	
	北澤宏展	田中雅大	鈴木紗記子	大谷紗乃乃	橋本佑樹	
	近田陽太	伊藤友香	孫思佳	—	金谷和樹	
	—	—	—	—	鈴木理史	
	アレルギー	—	—	牧野篤司	牧野篤司	—
午後(専門外来)	循環器	三井さやか	—	—	福見大地	—
	血液	—	濱麻人	PM土居崎小夜子	吉田奈央	(交代)
	神経	—	—	山本啓之	田中雅大	(交代)
	腎臓	—	渥美愛 / 藤瀬直子	—	—	—
	新生児発達	竹内陽平	中山淳	齊藤明子 / 杉山裕一朗	齊藤明子	大城誠
	予防接種	(交代)	見松はるか	—	橋本佑樹	—
	乳児健診	—	—	(交代)	—	(交代)
	小児内分泌	—	—	西門優一	—	西門優一
	アレルギー	牧野篤司	—	—	—	—
	●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。					

診療科目	月	火	水	木	金	
禁煙外来	毎週火曜日(12時30分~14時30分) 舟橋龍秀					
形成外科	(交代)	—	中野千郷	—	菱田雅之	
整形外科	新患	武重宏樹	野崎伸	山田洸大	小牧健太郎	田島美咲
	再診	井上英則	山本英樹	八木秀樹	洪淑貴	井上英則
		洪淑貴	小牧健太郎	大山博己	山本英樹	八木秀樹
		第1-3-5日 野崎伸 / 第2日 田島美咲 / 第4日 山田洸大	大塚純子	田島美咲	大塚純子	山田洸大
股関節外来	—	—	第2-4日 大澤郁介	—	—	
リウマチ外来	—	PM金子敦史	—	—	PM石川尚人 / 第1-3日 祖父江康司	
脳神経外科	服部健一	(交代)	波多野寿	(交代)	(交代)	
	真宮崇	(交代)	(交代)	(交代)	藤谷繁	
皮膚科	吉川真人	石原麻衣子	石原麻衣子	吉川真人	吉川真人	
	田中理華子	田中理華子	田中理華子	近藤春菜	石原麻衣子	
泌尿器科	加藤真史	鈴木知秀 / 角田夕紀子	加藤真史	山口朝臣	山口朝臣	
	高井一輝	金澤秀幸	千葉有香	金澤秀幸	千葉有香 / 高井一輝	
PSMA外来	PM加藤真史	—	—	—	—	
腎移植外来	PM加藤真史	—	—	—	—	
女性泌尿器科	—	(交代)	角田夕紀子	鈴木知秀 / 角田夕紀子	—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患	安藤智子	廣村勝彦	伊藤由美子	齋藤愛	津田弘之
	再診	松原令実	AM高林詩帆 / PM鈴木美帆	AM坂堂美央子 / PM近藤友宏	AM廣村勝彦 / PM宗宮尚帆	森永崇文
	生殖内分泌	齋藤愛	—	—	安藤智子	齋藤愛
	生殖内分泌・内視鏡	—	(交代)	—	—	—
	化療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	AM林紗由 / PM高林詩帆	AM伊藤由美子 / PM蔵野真弥	AM成田佑一郎 / PM山下恵子	手塚敦子	AM白倉知香 / PM蔵野真弥
	ハイリスク妊娠外来	AM津田弘之	—	—	—	—
	妊婦初診外来	PM手塚敦子	—	—	—	—
	多胎外来	—	(専門医)	—	(専門医)	—
	パースセンター	—	成田佑一郎	—	林紗由	—
眼科	寺田昂平	—	佐藤英津子	(交代)	佐藤英津子	
	(交代)	—	(交代)	(交代)	(交代)	
耳鼻咽喉科	新患	寺田聡広	平松崇也	山崎健右	小澤亮太	稲垣計
	再診	—	PM難聴耳鳴専門外来	—	難聴耳鳴専門外来	—
リハビリテーション科	新患	稲垣計	寺田聡広	寺田聡広	柘植勇人	西川大輔
	再診	小澤亮太	山崎健右	小澤亮太	稲垣計	平松崇也
放射線科	山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也	
	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹	
	青木すみれ	青木すみれ	青木すみれ	青木すみれ	青木すみれ	
●詳細は受付にお問い合わせください。						
歯科口腔外科	新患	長縄憲亮	早川泰平	(交代)	青木義彦	(交代)
	再診	青木義彦	長縄憲亮	—	長縄憲亮	—
		早川泰平	青木義彦	—	早川泰平	—
上田整	上田整	—	上田整	—		

外来診療のご案内

- ◆初診 …… 『診療申込票』に必要事項をご記入の上、マイナンバーカード(初めて受診される方)もしくは資格確認証・紹介状・各種医療証と共に、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分~午前11時(緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日~1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)



当院は、病院敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。

休診情報はホームページでご覧いただけます。



日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院
Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733

https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/



理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的にいたします。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。

臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術など基本的診療能力を習得するとともに、診療に際し患者及び医療スタッフと良好な関係を構築できる人格を涵養し、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る医師としての社会的役割を理解し実践できる。